

令和3年度 議会ふれあいミーティング（大館地区）開催報告書

開催日時	令和3年11月21日（日） 10時00分～12時00分
開催場所	八戸消防本部 5階 防災教育・研修室
出席議員	山之内 悠、工藤 悠平、上条 幸哉、中村 益則、田名部 裕美、 五戸 定博、立花 敬之、山名 文世、伊藤 圓子、冷水 保、 田端 文明、松橋 知、三浦 博司、岡田 英、久保 百恵、吉田 洸龍 ※各出席議員の役割分担は、別紙1のとおり。
参加者数	31人

1 次第

- (1) 開会 山之内 悠 議員
- (2) 主催者あいさつ 三浦 博司 副議長
- (3) 地域代表あいさつ 大館地区連合町内会 大瀧 清司 会長
- (4) 議会報告 田名部 裕美 議員
 - ① 市議会の役割
 - ② 市議会の仕事
 - ③ 具体的事例
- (5) グループワーク
 - ① 地域の子供たちの教育関係をどやすっきゃ → こどもグループ
 - ② 町内会活動の活性化をどやすっきゃ → 町内会グループ
 - ③ シビックプライドの醸成をどやすっきゃ → シビックプライドグループ
 - ④ 地域の歴史文化の継承をどやすっきゃ → 歴史文化グループ
- (6) 発表
- (7) 総括・御礼 五戸 定博 議員
- (8) 閉会・アンケート回収 山之内 悠 議員、上条 幸哉 議員、中村 益則 議員
冷水 保 議員、伊藤 圓子 議員、立花 敬之 議員

2 グループワークの進め方

- ① 約束の確認
 - ・ 他者の話を否定しない。
 - ・ 自己中心的な話はしない。
 - ・ 「ほー、ほー。」「うん、うん。」とうなずく。
- ② 自己紹介、アイスブレイク（5分）
 - ・ ネームカードにニックネームを書く。（1分）
 - ・ 自己紹介は「〇〇の△△です。よろしくお願ひします。」
 - ・ 進行役から時計回りに。（2分）
 - ・ 終わったら全員で両手を高く挙げてください。

③ ワーク①～④ (30分)

ワーク① (5分)

- ・ 課題の抽出

→ それぞれのテーマについて課題や問題点をできるだけ多く付せんに書いて貼る。

ワーク② (6分)

- ・ グループピング

→ みんなで話し合いながら似たような課題をグループ分けしてください。

ワーク③ (6分)

- ・ 解決策の提案

→ グループ分けしたそれぞれの課題について、解決に導く提案をできるだけ多く付箋に書いて貼る。

ワーク④ (10分)

- ・ 解決策・アイデアの整理

→ 様々なアイデアを足し算したり引き算したり、掛け合わせたりして、みなさんがこれぞ!!というアイデアを整理してください。

3 グループワークの内容

※ご意見は、グループワークで出された付せんを基に作成しております。

(1) 討論テーマ

- ・ 地域の子供たちの教育関係をどやすっきゃ → こどもグループ

【視点①】地域の中で子供を育てる

【視点②】放課後児童の対応

こどもグループでは防犯・安全の課題として「交通事故、暗い道が多い、通学路の安全、万引き、笑顔と声がけ」等の意見が出された。その対応策として「歩道・道路の整備、PTA・地域の見守りと挨拶・声がけ、子供110番の家を増やす、交通ルールの徹底、街灯の増設、防犯カメラの設置」等の意見が出された。

情報発信の課題として、「こども園として中学との連携がわからない、学校との連携が不十分」等の意見が出された。その対応策として「指導者・保護者・学校をつなぐマッチングアプリの開発、年長児の小学校への探検、情報発信をもっと行う、ブログ・通信・オープンスクールを行う」などの意見が出された。

家庭の課題として、「孤立孤食、子供だけで家にいる時間が長い、生活保護受給者が多い、ひとり親世帯へのサポート、不登校」などの意見が出された。その対応策として「町内会・子ども会が受け皿になる、子ども食堂、炊き出しを定期的に行う、気軽に集まれる場所の創出、ひとり親家庭への訪問」などの意見が出された。

高齢者と子どもがふれあう課題として、「世代間交流、異年齢交流、保護者の集まれる場所がない、地域のことを知らない、児童館の不足、保護者の地域行事への参加」などの意見が出された。対応策として「保護者へのお祭り参加の呼びかけ」といった意見が出された。

放課後の過ごし方の課題として、「公園・緑地帯が少ない、公園でボール遊びができない、放課後の遊び場の不足、習い事が忙しい、土日・長期休みの工夫」などの意見が出された。対応策として「お寺や神社の活用、放課後公民館の利用、空き地の活用、空き家・空き教室の活用、クラウドファンディング、町内で子供を中心とした活動の計画」といった意見が出された。

(2) 町内会活動の活性化をどやすっきゃ → 町内会グループ

【視点①】 未加入者の加入促進と拠点作り

【視点②】 高齢者対策

町内会グループでは未加入問題の課題として「班長が来ると脱会する、町内会費が高い、町内会への関心がない、新規加入者が少ない、若い方の加入が少ない、親世代で脱会して再加入しない、班長が負担で加入しない」などの意見が出された。対応策として、「PTA 活動を通して加入促進、役所での加入案内、加入促進ポスターチラシの更新」などの意見が出された。

町内会活動についての課題として生活館の維持管理が大変、行事への参加が少ない、公民館活用について、歩道等の清掃について、役員のなり手が少ない、他人に頼っている」などの意見が出された。対応策として「拘束時間・自由時間のバランスが重要である」といった意見が出された。

高齢者問題についての課題として、「高齢者の町内会脱会が増える、みんなで活動することが少ない、一人暮らし高齢者の見守り、一人暮らし加入者の生活」といった意見が出された。対応策としては「高齢者の負担軽減、活動に共感する」といった意見が出された。

(3) シビックプライドの醸成をどやすっきゃ → シビックプライドグループ

【視点①】 視点①新田城まつり推進

【視点②】 新田城史跡の保存

シビックプライドグループでは後継者育成の課題として「祭りスタッフの後継者不足・高齢化、祭り参加の高齢化、世代継承、高齢になり疲れが出てきている、後継者育成、新しい人材の参加者を増やす、祭りを次世代に伝える手段、担い手の確保、小中学校との連携強化」などの意見が出された。その対応策として「小中学校で地域学習する、学生に頼む、小中学校をもっと関わらせる、祭り参加を地区以外へ積極的に、スタッフを大館以外に求める」といった意見が出された。

PRの課題として「行列コースの確認、歴史の掘り起こし、案内板の設置、祭りのPR不足、市内全域、圏域への周知、祭りの体験、ポスターの設置、住民の意識が低い、会場周りの工夫」などの意見が出された。その対応策として「メディア・HPの作成、YouTube・SNSの活用、ポスターを増やす、広報紙による史跡の案内、イベントの確認、祭りに昔の遊びを盛り込む、参加人数の確認、観覧者の確認」などの意見が出された。

保存・伝承の課題として、「運営経費の保持、用具の維持修理が大変、地元歴史の伝承、場所の確認、城跡の保存、新田城趾の公園化」などの意見が出された。その対応策として、「景色がいいので公園化する・PRを行う」などの意見が出された。

拠点整備の課題として「拠点となる公民館の建て替え、祭り用具の保管場所がない・道具などの保管場所の確保、新発想の公民館新築」などの意見が出された。対応策として「新市

長へ直訴、市政より後押ししてもらおう」などの意見が出された。

(4) 地域の歴史文化の継承をどやすっきゃ → 歴史文化グループ

【視点①】歴史看板等の活用

【視点②】民俗芸能の継承

歴史文化グループでは継承の課題として「歴史文化の継承の意義目的が不明、研修活動の充実」などの意見が出された。対応策として「学校・町内会・その他でさらに広く伝える、他地区の好例を参考に参考にする、学校教育を取り入れる、学習会の開催」などの意見が出された。

看板についての課題として「場所が分からない、関心が薄い、一部にしか看板がない」などの意見が出された。対応策として「市に大館地区マップを作ってもらい、他地区町内会との交流会を開く、看板の場所を分けてウォーキング街道を計画する、市内へのアピール活動でチラシ配布、名所巡り等のイベント開催」などの意見が出された。

資金についての課題として「市としての補助、資源の保全、予算が必要、大館には様々な史跡があるが、それらをどのように活かすか」などの意見が出された。対応策として、「地域と行政の協議会を設ける」などの意見が出された。

環境についての課題として「保全管理、環境づくり、保護、整備、コミュニティーの場、歴史文化を自由を楽しめる場、大人から子供へ伝える場、気軽に集える場、学べる場」などの意見が出された。対応策として「大館地区にえんぶりを練習・伝達する場を作る、大館公民館を活用」といった意見が出された。

人材についての課題として「若い人・後継者がいない、仕事を休みにくい、子供が少ない、松館神楽の後継者がいない」などの意見が出された。対応策として「町内会への参加・勧誘を行う、学校と共に人材確保を行う、町内会の回覧板で勧誘を行う」といった意見が出された。

4 その他

- ・ 当日写真 別紙2のとおり。
- ・ 参加者アンケート結果 別紙3のとおり。

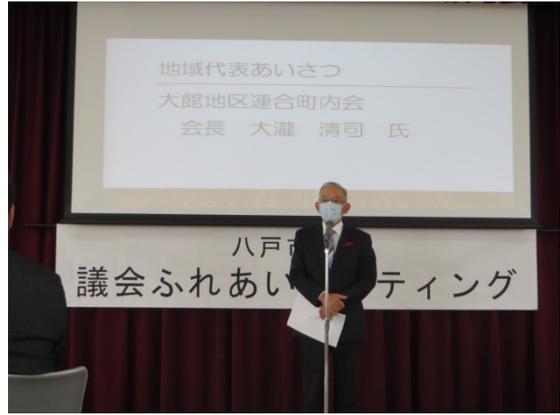
【各出席議員の役割分担】

役 割		担当人数	担 当 者
会議運営	あいさつ	1名	三浦 博司 副議長
	司会進行	2名	山之内 悠 議員、岡田 英 議員
	議会報告説明	1名	田名部 裕美 議員
	グループワーク		○こどもグループ 田名部 裕美 議員、三浦 博司 副議長 ○町内会グループ 中村 益則 議員、伊藤 圓子 議員 ○シビックプライドグループ 工藤 悠平 議員、松橋 知 議員 ○歴史文化グループ 上条 幸哉 議員、山名 文世 議員
受付・アンケート回収	5名	上条 幸哉 議員、中村 益則 議員、 冷水 保 議員、伊藤 圓子 議員、 立花 敬之 議員	
マイク渡し	1名	岡田 英 議員	
録音・報告書作成	2名	久保 百恵 議員、吉田 洸龍 議員	
資料作成	1名	山之内 悠 議員	
取材対応	2名	三浦 博司 副議長、山之内 悠 議員	
会場準備・後片付け		全議員	

▼主催者代表挨拶 三浦副議長



▼地域代表挨拶 大館地区連合町内会 大瀧清司会長



▼議会報告 田名部議員



▼グループワークの様子



▼発表



▼総括・御礼 五戸議員

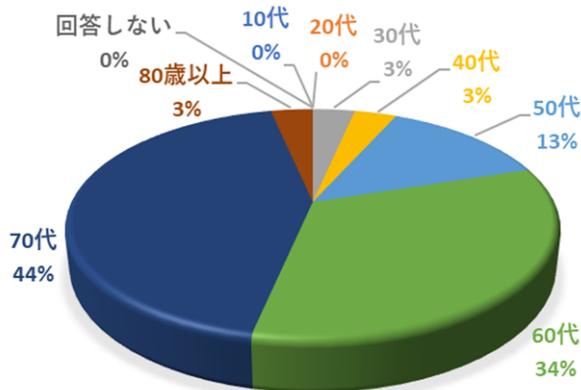


令和3年11月21日「議会ふれあいミーティング（大館地区）」アンケート結果

◎参加者数：31人 ◎アンケート回収枚数：30枚（回収率96.8%）

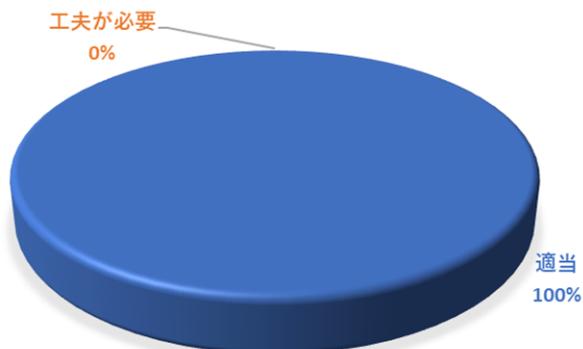
Q1：参加者のご年齢について

10代	20代	30代	40代	50代
0	0	1	1	4
60代	70代	80歳以上	回答しない	
10	13	1	0	



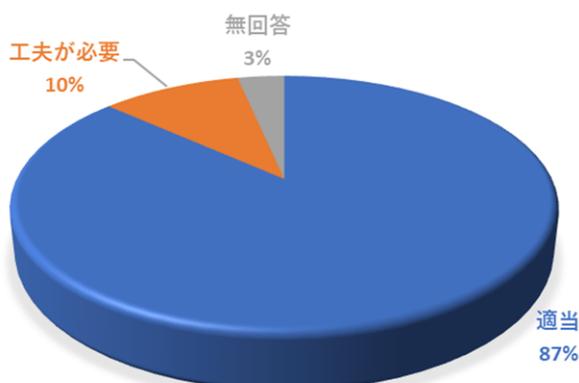
Q2：議会ふれあいミーティングの開始時刻について

適当	工夫が必要
30	0



Q3：議会ふれあいミーティングの時間について

適当	工夫が必要	無回答
26	3	1

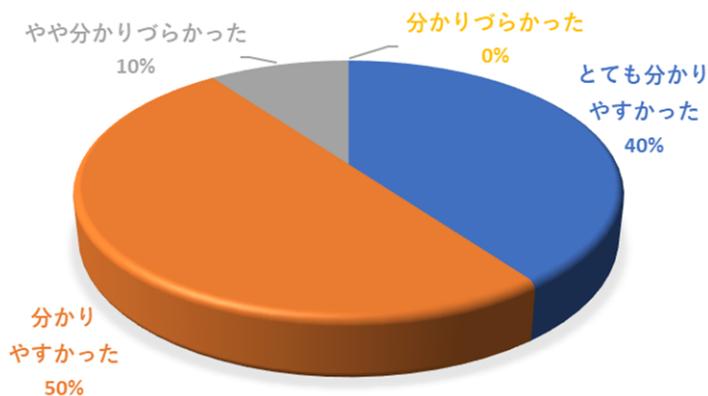


《その他意見》

- ・短い。(60代)
- ・内容が多すぎる(広すぎる)ので時間不足である。(60代)
- ・時間不足。(70代)
- ・時間が足りない。(70代)

Q4:議会報告会の内容について

とても分かりやすかった	分かりやすかった	やや分かりづらかった	分かりづらかった
12	15	3	0

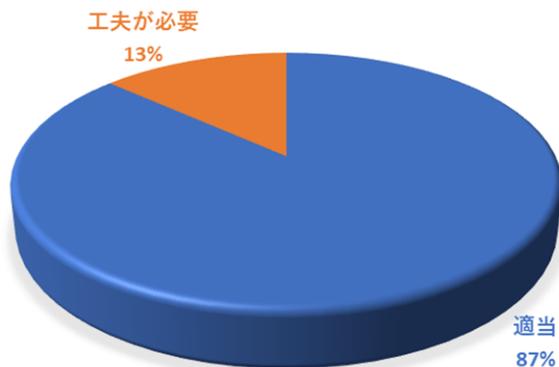


《その他意見》

- ・議員さんたちは何を求めているのだろうか、自分たちの問題意識を伝えて欲しいと思った。(60代)
- ・市議会議員とのふれあい、今後続けて欲しい。(70代)

Q5:配布資料について

適当	工夫が必要
26	4

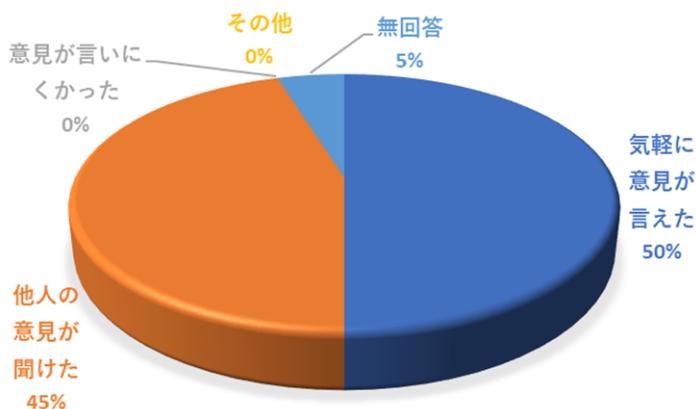


《その他意見》

- ・グループワークの進め方の資料があってもいい。(40代)
- ・もう少し詳しいものにしてほしい。(70代)

Q6:ワークショップについて

気軽に意見が言えた	他人の意見が聞けた	意見が言いにくかった	その他	無回答
21	19	0	0	2

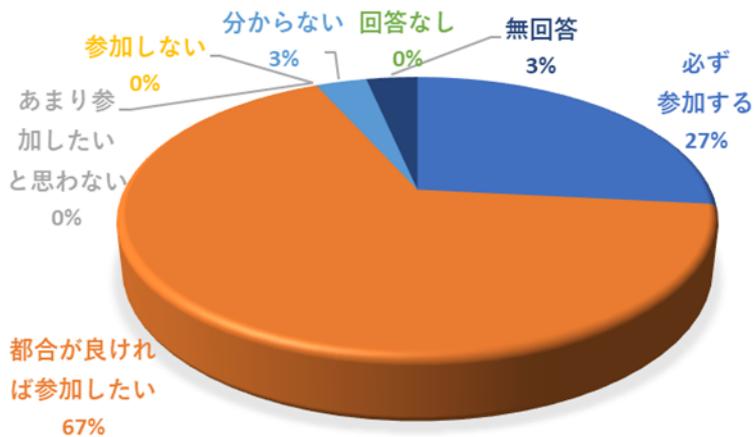


《その他意見》

- ・時間が足りない。(70代)
- ・ワークショップがよい。(70代)

Q7:今後の参加について

必ず参加する	都合が良ければ参加したい	あまり参加したいと思わない	参加しない	分からない	回答なし	無回答
8	20	0	0	1	0	1



Q8：その他議会ふれあいミーティングに関するご意見について

- ・話し合われたことがどう今後につながっていくのか。(50代)
- ・他地域でもたくさん開かれるといいですね。議員のみなさまもおつかれさまでした。(50代)
- ・様々な問題解決の為何とか拠点(公民館)造りをお願いしたい。(50代)
- ・いろいろな方の意見が聞けて良かった。(60代)
- ・参加者名簿があれば。(60代)
- ・今回の意見等をぜひ議会で反映して頂きたい。(60代)
- ・議員の方々とのふれあいが良かった。(70代)
- ・ニックネームとても良かった。気楽に話し合いができた。(70代)
- ・地域の課題が良く分かりました。(70代)
- ・はじめての体験でしたがよかったです。(70代)
- ・各地域での開催を要望する。(70代)
- ・議員の活動報告等が少なかった。(70代)
- ・ミーティング時間の確保がポイント。(70代)
- ・課題解決に向けて参加者全員の意見を述べる時間がほしい。(70代)
- ・地元議員だけでなく、他地区議員さんにも大館を知ってもらえた。(70代)
- ・住民の声を市政に生かしてもらえることを期待する。(80歳以上)

(後日、開催地区から寄せられたご意見)

- ・マスコミが取材に来なかった。両会場に取材が来られるよう開催時間を工夫する必要がある。